

南島の生態系回復に係るネズミ対策

平成28年12月22日 地域連絡会議
東京都小笠原支庁 資料3-3

1. これまでの経緯

- H17年度～ 海鳥(アナドリ)にネズミの食害を確認
- H23年度 ネズミ駆除を実施
- H25年度 ネズミの再発見(1年10カ月後)
- 以降、2度駆除を行うも**海鳥被害は無くならない。**

2. 新たな知見

○ネズミ生息密度に地域差

- ・外周部で多く確認
- ・アナドリ被害確認箇所と一致

○再侵入の可能性は低い

- ・父島と南島のDNAを比較し、
関連を否定

**小面積(28ha)の南島では
駆除手法の改良で根絶の
可能性あり**



3. 今後の対応

○目標

新たな知見を踏まえ、根絶を目指す。

○今後の駆除計画(H29.1～)

①手撒き散布

- ・3回実施、約480地点(右図)

②ベイトステーション(BS)設置

- ・①後に実施、約230個

○改良点

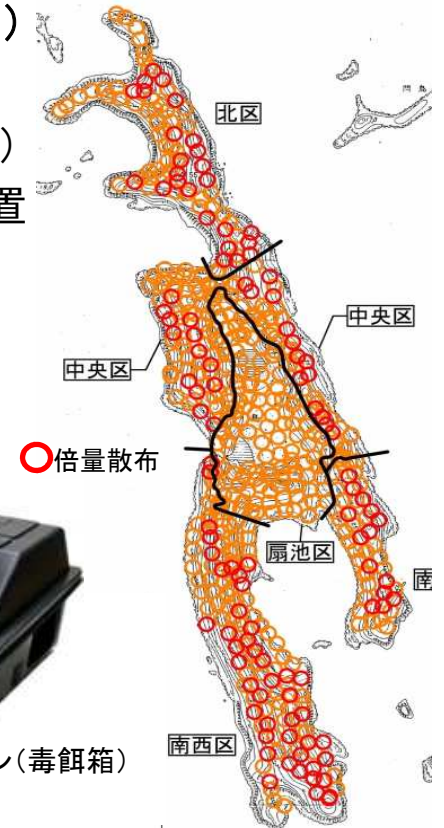
- ・散布量に地域差をつける
- ・生き残り対策にBS設置



殺鼠剤(防水紙入)



ベイトステーション(毒餌箱)



○環境・観光配慮

- ・土壌や水の殺鼠剤成分を分析
- ・入島可能期間前に自然観察路の清掃
- ・船から海上流出の監視・回収、海岸清掃
- ・説明会・チラシ・村民だよりで事前周知